

# 白楊ヶ丘札幌

令和6年 8月 30日  
 白楊ヶ丘同窓会札幌支部  
 〒060-0061  
 札幌市中央区南1条西11丁目  
 ワンス南一条ビル2F  
 公認会計士・税理士 酒井純事務所内

## 少子化と小規模校の 中での人材育成



札幌支部 支部長

黒田 信彦

(第七三期・昭和四十六年卒)

白楊ヶ丘同窓会札幌支部の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃から同窓会の活動に対しまして、一方ならぬご支援を賜り感謝申し上げます。本年度も皆様方のお陰で総会・懇親会を開催できる運びになりましたことに対して厚くお礼申し上げます。

既にご存知のこととは思いますが、当支部では本年二月にホームページを立ち上げ、母校の状況や同窓会の活動内容を多くの方々に知って頂き、情報を共有しながら同窓

会の輪が広がっていくことを期待しております。ただ、今のところアクセス数が少なく、今後の周知の仕方が課題となっております。皆様方には是非ともホームページをご覧頂き、ご意見やご要望などがございましたらお気軽にお問い合わせください。

さて、母校では昨年度から普通科四クラス、理数科一クラスに再編成され新たなスタートを切ったところ です。同窓の多くの方々は昔と比べると随分生徒数が減ったと感じておられると

思います。現在、一学年八学級の高校は普通科では札幌の東西南北だけになりました。以前、私は道教委で高校再編に関わる仕事をしておりました。北海道の中

学校卒業生数をみると、昭和六十三年（一九八八年）がピークで92200人、平成十二年（二〇〇〇年）には67200人、さらに平成二十二年（二〇一〇年）



▲函館中部高等学校 外観

には 51600 人、そして令和五年（二〇二三年）にはピーク時の四十五％に相当する 41200 人にまで急減しています。生徒急増期に新設した高校はその役割を終え、地方の高校は存続していくことが難しく統廃合が進んでいます。一方、魅力ある高校づくりにも携わり、例えば、単位制高校、総合学科、中高一貫校、地域キャンパス校など様々な観点から新たな学校づくりをしましたが、生徒急減期の中では限界があり、学校運営に支障が出ていることは事実です。

別表に戦後の学制改革前に発足した旧制中学校の歴史を掲載しました。多くの学校は現存していますが学校規模はどんどん小さくなっています。そして、歴史と伝統のある旧制中学校でさえ統廃合が進み、余市

高校は二〇一〇年に、砂川南高校は二〇〇四年に、紋別北高校は二〇〇六年にそれぞれ再編統合しています。こうした中で、母校では新たに理数科を設置し

今後の進路動向や人材育成に期待がかかっています。また、函館中部高校は以前から国や道から多くの研究指定校を受けており、校長先生を中心に先生方が懸命

に頑張りながら人材育成に励んでおられる姿に敬意を表します。来年は創立百三十周年を迎えるにあたり、函館市の人口減少が進む中で、私立

八校、市立一校、さらに高専が存在しており、いかに生徒にとって魅力ある学校であるかが期待されています。

（別表）旧制中学校一覧

|   | 高 校 名          |      | 沿 革          |
|---|----------------|------|--------------|
| 1 | 函館中部<br>(1885) | 明28  | 函館尋常中学校      |
|   |                | 〃 32 | 函館中学校        |
|   |                | 〃 34 | 北海道庁立函館中学校   |
|   |                | 昭23  | 北海道立函館高等学校   |
|   |                | 〃 25 | 北海道函館中部高等学校  |
| 〃 | 札幌南<br>(1885)  | 明28  | 札幌尋常中学校      |
|   |                | 〃 38 | 北海道庁立札幌中学校   |
|   |                | 大 4  | 北海道庁立札幌第一中学校 |
|   |                | 昭23  | 北海道立札幌第一高等学校 |
|   |                | 〃 25 | 北海道札幌南高等学校   |
| 3 | 小樽潮陵<br>(1902) | 明35  | 北海道庁立小樽中学校   |
|   |                | 昭23  | 北海道立小樽高等学校   |
|   |                | 〃 25 | 北海道小樽潮陵高等学校  |
| 4 | 旭川東<br>(1903)  | 明36  | 北海道庁立上川中学校   |
|   |                | 大 4  | 北海道庁立旭川中学校   |
|   |                | 昭23  | 北海道立旭川高等学校   |
| 〃 | 札幌西<br>(1912)  | 大 4  | 北海道庁立札幌第二中学校 |
|   |                | 昭23  | 北海道立札幌第二高等学校 |
|   |                | 〃 25 | 北海道札幌西高等学校   |
| 6 | 岩見沢東<br>(1913) | 大 2  | 北海道庁立岩見沢中学校  |
|   |                | 昭23  | 北海道立岩見沢高等学校  |
|   |                | 〃 25 | 北海道岩見沢東高等学校  |
| 〃 | 釧路湖陵<br>(1913) | 大 2  | 北海道庁立釧路中学校   |
|   |                | 昭23  | 北海道立釧路高等学校   |
|   |                | 〃 25 | 北海道釧路湖陵高等学校  |
| 8 | 室蘭栄<br>(1917)  | 大 6  | 北海道庁立室蘭中学校   |
|   |                | 昭23  | 北海道立室蘭高等学校   |
|   |                | 〃 25 | 北海道室蘭栄高等学校   |
| 9 | 倶知安<br>(1922)  | 大11  | 北海道庁立倶知安中学校  |
|   |                | 昭 2  | 倶知安実科高等女学校   |
|   |                | 〃 23 | 北海道立倶知安高等学校  |
|   |                | 〃 25 | 北海道倶知安高等学校   |
| 〃 | 名寄<br>(1922)   | 大11  | 北海道庁立名寄中学校   |
|   |                | 昭23  | 北海道立名寄女子高等学校 |
|   |                | 昭25  | 北海道名寄高等学校    |
| 〃 | 北見北斗<br>(1922) | 大11  | 北海道庁立野付牛中学校  |
|   |                | 昭17  | 北海道庁立北見中学校   |
|   |                | 昭23  | 北海道立北見高等学校   |
|   |                | 昭25  | 北海道北見北斗高等学校  |

|    | 高 校 名           |      | 沿 革          |
|----|-----------------|------|--------------|
| 〃  | 網走南ヶ丘<br>(1922) | 大11  | 北海道庁立網走中学校   |
|    |                 | 昭23  | 北海道立網走高等学校   |
|    |                 | 〃 25 | 北海道網走南ヶ丘高等学校 |
| 13 | 八雲<br>(1923)    | 大12  | 北海道庁立八雲中学校   |
|    |                 | 昭23  | 北海道立八雲高等学校   |
|    |                 | 〃 25 | 北海道八雲高等学校    |
| 〃  | 稚内<br>(1923)    | 大12  | 北海道庁立稚内中学校   |
|    |                 | 〃    | 稚内町立実科高等女学校  |
|    |                 | 昭13  | 北海道庁立稚内高等女学校 |
|    |                 | 昭23  | 北海道立稚内高等学校   |
|    |                 | 昭25  | 北海道稚内高等学校    |
| 〃  | 帯広柏葉<br>(1923)  | 大12  | 北海道庁立帯広中学校   |
|    |                 | 昭23  | 北海道立帯広高等学校   |
|    |                 | 昭25  | 北海道帯広柏葉高等学校  |
| 16 | 余市<br>(1924)    | 大13  | 余市町立余市中学校    |
|    |                 | 〃 14 | 北海道庁立余市中学校   |
|    |                 | 昭23  | 北海道立余市高等学校   |
|    |                 | 〃 25 | 北海道余市高等学校    |
| 〃  | 留萌<br>(1924)    | 大13  | 留萌町立留萌中学校    |
|    |                 | 〃 14 | 北海道庁立留萌中学校   |
|    |                 | 昭23  | 北海道立留萌高等学校   |
|    |                 | 〃 25 | 北海道留萌高等学校    |
| 18 | 苫小牧東<br>(1937)  | 昭12  | 苫小牧町立苫小牧中学校  |
|    |                 | 〃 16 | 北海道庁立苫小牧中学校  |
|    |                 | 〃 23 | 北海道立苫小牧高等学校  |
|    |                 | 〃 25 | 北海道苫小牧高等学校   |
|    |                 | 〃 28 | 北海道苫小牧東高等学校  |
| 19 | 深川西<br>(1938)   | 昭13  | 北海道北空知中学校    |
|    |                 | 〃 16 | 北海道庁立深川中学校   |
|    |                 | 〃 23 | 北海道立深川高等学校   |
|    |                 | 〃 25 | 北海道深川高等学校    |
|    |                 | 〃 28 | 北海道深川西高等学校   |
| 20 | 砂川南<br>(1942)   | 昭17  | 砂川町立砂川中学校    |
|    |                 | 〃 21 | 北海道庁立砂川中学校   |
|    |                 | 〃 23 | 北海道立砂川高等学校   |
|    |                 | 〃 25 | 北海道砂川南高等学校   |
| 21 | 紋別北<br>(1943)   | 昭18  | 北海道紋別中学校     |
|    |                 | 〃 22 | 北海道庁立紋別中学校   |
|    |                 | 〃 23 | 北海道立紋別高等学校   |
|    |                 | 〃 25 | 北海道紋別高等学校    |
|    |                 | 〃 41 | 北海道紋別北高等学校   |



# 「創立百三十周年に向けて」



白楊ヶ丘同窓会会長

室田 晴康

(第七五期・昭和四十八年卒)

白楊ヶ丘同窓会札幌支部の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。黒田支部長をはじめ、皆様方の素晴らしい同窓会活動に敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症も第五類感染症になり、昨年より白楊ヶ丘同窓会総会及び懇親会を開催することが出来ませんでした。しかしながら、長年、五島軒にて開催をしてりましたが、五島軒の諸般の事情により開催することが出来なくなりました。今年度は一からの会場探しで、ベルクラシッ

ク函館にて開催する事となりました。

来年開催されます創立百三十周年記念祝賀会も、二〇二五年十月十八日にベルクラシック函館にて開催を予定しております。現代に即したコンパクトで、スマートな協賛事業としたいものです。多くの方々のご出席をお願い致します。後日ご案内を差し上げますが、午前中に函館中部高校体育館において記念式典を開催いたします。現在、学校を中心に各委員会を開催し、計画立案をしているところであります。記念事業として、

百三十周年記念誌の発行、学校教育環境整備の実施、長年にわたり懸案でありました中部高校内資料室の整理を行い、在校生はもとより卒業生にもいつでも見学できる資料室でありたいと思います。現在、専門家に資料室を見ていただき、百三十年の連綿と続く函中の歴史と伝統を後世に繋いでいくことを目的としております。現在、資料室は空き教室に貴重な資料、備品等を煩雑に置かれている状態です。創立百三十周年の記念すべき年に整備したいと思っております。

これも白楊ヶ丘同窓会の皆様方のご協力なくして出来うるものではありません。皆様方のご理解とご協力をお願い致します。私も周年事業には百周年の時から関わっております。百周年の時は藤岡敏彦会長(四十五期)のもと、記念式典を函館市民会館にて

千三百名(生徒千五十名)、小ホールにてビデオを同時上映し五百名からの参加者のもと実施されました。祝賀会は市民体育館において千五百席の祝賀会会場作りが早朝より始められ開催されました。協賛関係事業としては、白楊会館の増改築することであり、百年記念協賛事業の「目玉」ともいえるものでした。

百十周年は山内隆陽会長(五十六期)のもと、式典を市民会館にて千二百名が集い開催されました。祝賀会は会場を五島軒に移し、六百名からの関係各位同窓

生参加のもと、実施されました。百二十周年は石井直樹会長(六十三期)のもと、諸般の事情により、コンパクトな開催との事で、式典は中部高校体育館にて開催しました。祝賀会は五島軒にて総勢五百五十名参加のもと、実施されました。百三十周年は通過点に過ぎず、私たち同窓生の母校への思いは、連綿と受け継がれていくものです。

明治二十八年四月一日、中等普通教育を司る北海道最初の公立の尋常中学校が誕生、明治三十二年中学校令の改正により、函館中学



▲五稜郭駅付近

校と改称、明治三十四年に北海道立函館中学校となりました。

明治三十九年には、元町校舎から現在地に校舎を新築移転。大正二年函館中学校同窓会が発足、翌年創立二十周年を挙行、校旗制定と校歌（現同窓会歌）選定。昭和二十三年に新学制実施に伴い、北海道立函館高等

学校と改称。昭和二十五年函館市内公立高校の統廃合に伴い、北海道函館中部高等学校と改称。小学区制男女共学が実施されました。

昭和四十七年全校集会以て、制服廃止に伴う制服指導が行われ、服装の自由化が行われました。数々の歴史をたどり、百三十年の歳月が流れました。

## 東京支部だより



白楊ヶ丘同窓会東京支部長

白川 正 広

（第七六期・昭和四十九年卒）

白楊ヶ丘同窓会札幌支部の皆様には、お変わりなくお過ごしのこととお

喜び申し上げます。また、日頃より、当東京支部へのご支援に厚くお礼申し上げます。札幌支部報の

誌面をお借りして、東京支部の昨今の状況をお伝えします。

本年度のスタートとして、四月二十三日（火）に「評議員会」が例年の形式で開催され、一年間

の事業計画が承認されました。昨年は、秋の「親睦大会」を例にとると、会場を密にすることを避

けるために人数制限を設け、収入が頭打ちになったことに加えて、遠隔地からリモートで参加される方を見込んで外注費用をかけてweb配信を併用したことや、物価高に伴う会場費用の値上がりなど支出が増えたことによって、単年度では赤字の決算となってしまいました。ただ、評議員会では、その点ではなく、将来にわたってこの東京支部を継続発展させるために、もっと積極的に経費をかけるべきではないかなどの前向きなご指摘をいただきました。そのようなどご意見を追い風に「持続的な支部活動の実現に関するワーキンググループ」を新規に設置することに致しました。今

回は、その「持続性」を中心に東京支部の状況をご報告したいと思っています。

例年のとおり、今年三月に高校を卒業した皆さんや大学在学中の皆さんを対象に「新人歓迎会」を七月七日（日）に開催しました。新卒者十二名のお申込みに加えて、六八期までの方、すなわち、年齢層では、十八歳から八十歳手前までの方々、総勢四十五名の会となりました。会場は東京ならではの下の町の「月島もんじゃ街」のお店を貸切状態で行いました。未成年の方も参加されていますので、ノンアルコールの会でしたが、新人による「じゃんけん大会」などを行い、お店から注意を受けるほど盛り上がりました。

今年の卒業生には例年のような「卒業生名

簿」がありません。以前から個人情報保護の風潮によって、函館のご実家の住所欄を公開したくない生徒さんが何割かおられたため、空白が目立つ名簿となっていました。

函館本部のご判断で今回から発行そのものを廃止にしました。毎年、五十名以上の新卒者が関東の大学などに進んできますので、この「卒業生名簿」を頼りに函館のご実家に「東京白楊だより」と「新人歓迎会」のチラシを郵送してきました。それが使えなくなりましたので、少し苦労しました。学校にもご協力をいただき、なんとか同期のメンバーに連絡を広げてくれそうな方を数名、紹介してもらうことができました。その結果として、今回の十二名のお申込みということにたどりついた次第です。若手の皆さんは最





▲▼ 2023 東京新人歓迎会の様子



近ではLINEなどのSNSを通じてつながっているようなので、むしろ紙媒体の「卒業生名簿」よりも確実なルートなのでしょうね。

さて、東京支部の最大の行事は、百名を超える会員が集う、秋の「親睦

大会」です。今年は、「東京グリーンパレス」にて、十一月二日（土）十三時から開催する計画です。

毎回、「五十歳になった期」の皆様に幹事期として企画運営をお願いしております。三十歳、四十歳の頃は、仕事や子育てが

大変で、同窓会の存在は知っていても行事参加が難しい方々が五十歳を迎えて、大会幹事を担当する順番になったことを契機に、同期のメンバーに連絡を取り合い集まってもらいます。このご縁で、その先、六十歳以降になっ

ても同期の方とつながることができている幹事経験の期の皆さんが多いんじゃないかと思います。これも同窓会の大事な役割だととらえております。今回、その幹事期の皆様とコンタクトがとれませんでした。したがって、今年の大会は事務局が肩代わりすることになりました。残念なのは、このようなチャンス在今年五十歳になる皆様に提供できないことです。

世の中の変化とともに、同窓会の意義や企画運営も少しずつ変わっていくことが求められていくのです。諸物価の高騰や郵便料金の値上げも発表されています。そのような状況を踏まえると一定の取捨選択が必要なのではないか、例えば、毎年、四千部も印刷し郵送している紙媒体の「会報」に代えて打つべき施策があ

るのではないかといううなことも、数年続いた新型コロナウイルス感染症の副産物として検討するきっかけになっていきます。

同窓会は、同じ函館の地で青春時代を過ごしたという一点でつながっています。幅広い年代の方の集まりであり、今後継続発展していくためには新卒者をはじめ若い同窓の皆様が参加しやすいものであり続ける必要があると考えております。ここまで、東京支部の地道な取り組みの一端を紹介させていただきました。また、役員が札幌支部をはじめ各支部に相互に出席することを通じて、良い点を参考にして共に発展していくことを期待しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 継承される函中スピリット 『白楊魂』



北海道函館中部高等学校長

清水 信彦

黒田信彦支部長様をはじめ、白楊ヶ丘同窓会札幌支部の皆様には、日頃より本校の振興と教育活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。私は、昨年度、石狩管内江別市の大麻高等学校から赴任し二年目となります校長の清水信彦と申します。私自身、本校卒業の同窓会の一員ですので、母校に赴任してきたことにたいへん嬉しく、また光栄に感じているところです。微力ではありますが、道内有数の歴史と伝統を誇る母校の名門函中のさらなる充実・発展に尽

力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

この紙面をお借りしまして、学校の近況等についてご報告させていただきます。

## 一 通常を取り戻した教育活動

昨年五月の新型コロナウイルス感染症の第五類への移行から、ほぼ制限のない通常の教育活動が戻ってまいりました。授業では、これまで制限されていた対話中心のペアやグループワークも活発に行われ、行事では、五月に快晴の中、

昨年四年ぶりに復活した大沼での耐久レース・春季遠足を実施しました。また、七月には高校生活最大のイベントである白楊祭を二日間の一般公開を含めた三日日程で、今年は最終日に打上花火で締めくくる後夜祭を開催し大盛況のうちに終了しました。通常を取り戻した学校生活ですが、コロナ禍以前の形に戻すだけでなく、特に行事では生徒が主体的に創意工夫ある新たな企画・運営する形で進めているところです。

## 二 理数科設置三年目・スーパースサイエンスハイスクール（SSH指定校）五年目

理数科の設置から三年目となり、普通科四クラス、理数科一クラスの五クラス編成の完成年度を迎えました。理数科では、科学的現象に興味をもち、筑波宇宙センターJAXAの研究施設や本郷の東大キャンパス

の訪問等とおして、理科や数学等の専門性を高め、その専門性を将来にわたって追究しようとするスペシャリストの育成を目指しています。また、文部科学省より「スーパースサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受けて第1期最終の五年目を迎えています。普通科・理数科共に全校生徒が、大沼の自然環境調査、課題研究の発表、また大学教授による講演会や研究施設を訪問するなかで、自らが問いを立て、その問いを解決するためデータを活用した探究的な学びを深め、世界で活躍できる科学系人材の育成を目指しています。

## 三 令和五年度（二〇二三年度）卒業生の進路状況

この三月に卒業した五クラス百九十三名の大学受験等の合格者数は、国公立大

学が延べ百三十九名、私立大学・短大延べ二百七名、高等看護学校延べ六名、専修学校一名となつています。特に、国公立大学の現役合格数が卒業生在籍数の約七十二%という昨年度の過去最高約七十%を更新する合格率となりました。内訳は、東京大学二年連続現役合格一名、京都大学一名、大阪大学一名、東北大学五名、北海道大学十四名、医学部医学科五名をはじめ、難関国公立大学にも合格者を輩出しています。私立大学においても、早稲田、慶応、明治、法政、立教、中央、青山学院など首都圏の大学に多数の合格者を出しており、生徒たちのためまぬ努力と実績は北海道内においても順位を上げ高く評価されています。

## 四 健闘光る函中部活動

部活動については、全





## 遠藤 紳一

(第七五期・昭和四十八年卒)

汗だくの桜田君の胸を思い出すと、あま酸っぱい青春時代がよみがえるようです。自由はいいですが、毎日服を変えるのは確かに面倒。

## 一 中部高校の思い出

校生徒の加入率が全日制約九十%、定時制約五十%の中、全日制が陸上競技部、テニス部、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、バドミントン部、剣道部、弓道部、囲碁・将棋部、放送局、書道部、LMC(軽音楽部)、水泳部、ソフトテニス部、定時制もバドミントン部、卓球部など昨年度以上に数多くの部活動が全道大会への出場を果たし、その中でも全日制の陸上競技部、放送局、書道部、科学部については、全国大会の出場権を獲得する活躍をみせてくれています。

上記の他にも、英語教育の取り組みとして海外六大学との連携による短期留学制度や、昨年の三年生で英検一級に合格する快挙を成し遂げるなど資格取得にも力を注ぎ、また医進類型の研究指定

事業の取り組みにより、医学部を目指す生徒のための教育体制を充実させるなど進化し続けているところです。

結びになりますが、本校は、今後も函中スピリット「白楊魂」で創り上げてきた函中生の輝かしい伝統を継承しつつ、社会の動向や未来を見据えた教育活動に積極的に取り組み、この変化の激しい時代に求められている「次代を創造する人材」を育む生徒主体の教育を推進してまいります。同窓生の皆様には、今後とも本校の教育活動に対して多大なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、白楊ヶ丘同窓会札幌支部の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

七十五期、昭和四十八年卒業の遠藤です。卒業後五十年が過ぎ、記憶もかなり怪しい。久しぶりに卒業アルバムを開き眺めていると、忘れていた懐かしい時代がよみがえってきました。今回は良い機会を与えていただきました。

一年の全校マラソン、たまたま三位に入り、陸上部生活が始まりました。顧問は奥平先生、普段の練習は生徒の自主性に任せていたと思います。ある時、千代台競技場のトラックを走っていると、突然、先生が後ろから現れ、「遠藤、もう少し、腰を入れて走れ。」とランニングパンツの後ろ

を持ち上げられ、百メートルほど腰を押されました。他校もいる中、かつこ悪いのなんの情けない話。先生は、どちらかと言えば小柄な体、年齢もそこそこだったと思います。私の腰を持ち上げる力強さ、ストライドの長さには圧倒されました。後で、先輩に聞きましたが、先生は、箱根駅伝山登りのスペシャリストとして鳴らしたようです。

二年生くらいだったような気がしますが、途中で、服装が自由になりました。当時は、バンカラな風風がいくぶん残っており、自由になつてからも、学生服に下駄といった先輩もおられました。夏でも裸にガ克兰の猛者(変人?)もいました。

三年の白楊祭、フオークダンスが終わり、体育館で定時制のお姉さんに囲まれていると、「おい遠藤、もう遅い、早く家に帰れ。」と壇上から大きな声、見上げると奥平先生、しぶしぶ帰宅しました。お子ちゃまの帰宅後、卒業アルバムのにある、豊岡先生(数学のベロ先生)のなまめかしい踊りなどの余興があつたのかもしれません。いろんな意味で、ああ残念。

アルバムには、仮装行列の写真も載っていますが、自分で準備に参加した記憶がありません。多分、まわりが汽車通を庇い、「おい、これかぶれ…」と衣装を渡してくれたんだと思います。

高校時代の我が家は七飯

町の田舎、自宅から駅まで四キロ弱、ＪＲから市電に乗り継ぎ、通学しておりました。携帯もない時代、よく三年間、無事に通学できたな、親にも心配をかけたんだろうと思います。家が松前、八雲や森、自宅から通えない同期も多数いましたので、私などは楽なほう、いい先生、先輩や仲間恵まれたのが、幸いだと思います。

## 二 同窓会について

昨年九月、酒井純君（三七の七 支部幹事）から、室田君（同窓会会長）が函館から来て、支部総会に出席するとの連絡を受け、久しぶりに出席いたしました。室田君とは、十年前、函館での同窓会以来です。会場に着くと、すでに同期が集まっていました。見回すと、さすがに、我々も年を取ったかな……。タバコでも吸おうかと、喫煙室に向かう途中、女性とすれ違い、

背中から、「遠藤君。」と声を掛けられました。振り返ると、同期の山田照美（三

の六 友村）さん。「ごめん、若いので、気が付かなかった。」と言うと、「うん、頑張って化粧して来たから。」と、明るい笑顔。今回の会では、同期の紅一点でした。

同窓会はコロナの影響で、久しぶりの開催。以前の会では、先輩、大先輩が多数参加されておられましたが、昨年は、同期が八人、全体で二十六人の出席、我々の前後世代が約半数を占めていたようです。以前、札幌で同期会をやったときには、同期だけでもかなりの人数だったような気がしますので、昨年の総会は、参加者が少なかったように思います。

最後に、久しぶりに校歌を歌いました。皆さん昔に戻ったのか、大きな声が会場に響き渡りました。その中でも、山田さんの声量は、他

を圧倒し、思わず振り返りました。さすが、合唱の先生。

## 三 校歌について

高校以来、何度も歌って来た校歌ですが、あらためて眺めると、その構想力、対比の妙、構成力に驚かされました。一番の歌詞では、函館の特異な地形、陸繋砂州の太古から現在までの形成過程、「空間と時間」が表現され、その中に、フランスの科学哲学者、バシュールの四元素（火、土、風、水）全てが見事にちりばめられ、最後に、「窮み無し流転の姿」と方丈記の無常観（日本文学の王道）で結ばれております。和魂洋才、将に傑作、素晴らし校歌ではと改めて感じ入りました。同窓の皆様には、何をいまさらと笑われそうですが……。

## 四 この場を借りて御礼

私は大学時代から関西、

多数の同期とは長らくご無沙汰でした。一九九〇年、ちょうど三十五歳の時、ようやく札幌まで戻ることができました。振り返れば、当時はバブルの絶頂、その後、日本経済の低迷が続き、今では失われた三十五年を迎えようとしております。北海道に戻れたことは、本当に幸運でした。十年ほど前、ちょうど六十歳定年の年、函館での同窓会に参加。

んな、今回の会は室田君がいろいろ段取りをしてくださったので、室田君には感謝を忘れないで……。と、挨拶したことを覚えております。後日、室田君から、同期会の写真が届きました。室田君には本当に足を向けては寝られません。この場を借りて感謝申し上げます。

その時は、東京など、遠方からも多数の同期が参加しておりました。前日、菅原君（三の二）の会社を訪問したところ、「当日は、五島軒に同期が集まり準備するので、時間があれば、手伝ったら……。と」告げられ、飛び入りで準備に参加しました。後にも先にも、行事の段取りを手伝ったのは、この時くらいだったような気がします。同窓会後、場所を移して同期会が開催され、その時、酒井君が、「み

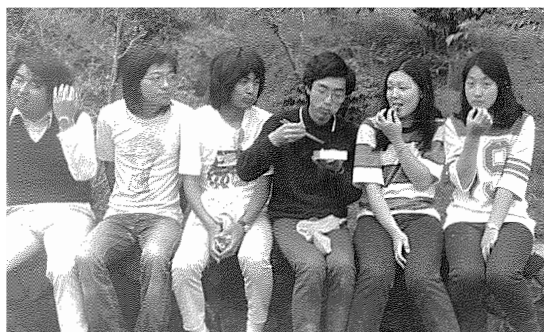
そういえば、酒井君も支部の幹事をして長い、もう何十年になるのだろうか。以前には会計士協会の会長もしていて、「なんでも受けて、いろいろ大変じゃないの……。と」聞くと、「いや、大丈夫だ。それしか能がない。」との返答。多数の秀才が集まる中部で一番になったことがある逸材ですが、自分分は努力の人と、いたって謙虚、全く、余人には代えがたいと頭が下がります。これから、よろしく願います。



## 回想

(第七八期・昭和五十一年卒)

年、「PTA会報」など発行していましたが、長ければ長いほど誰も読まないのが、例えば「校長挨拶」です。なので、「※写真を添付されても結構です」との但し書きに甘えて、約半分



詰め込まれていた家財道具・食器類・寝具・衣料・書籍などの片付け作業は丸三日間、大型トラック五台を要して終了しました。どうしても捨てられないモノのひとつは、写真・アルバムですね。札幌の自宅に運び込んだ昭和の初め頃からの写真・アルバムの中から、自分が函館中部高校に通学していた頃の写真を探しました。これがなかなか見つ

去年の秋、高一の夏から高三まで住んでいた築五十年の実家を売却しました。

自分が住んでいたのは三年に満たないのですが、祖母と両親が暮らした実家に詰め込まれていた家財道

最後↓最期）あつて、単位不認定になりそうな恥ずかしいモノです。当時の教育実習は二週間、父のホンダライフ排気量三百六十ccを借りて実家から学校へ通い、旧校舎東側にあつたテニスコート横に駐車させてもらつてました。その年、各教科あわせて二十名ほどの実習生がいた中、国語科

にて「指導教諭田中勉先生」。  
T君が古文『更級日記』の  
「三河の旅」、指導教諭石原  
団三先生。で、自分が漢文、  
指導教諭十倉昶先生。令和  
二年版の同窓会名簿を見た  
ところ、Kさんはすでに物  
故者となっておりました。  
研究授業の翌日、五稜郭の  
居酒屋二階で国語科の教育  
実習打ち上げの席を設けて

① 授業実施日時 昭和五十五年（一九八〇年）六月二十日金曜日二校時

一年三月卒業の七十八期でした。アルバムには、KさんとT君の指導案も保存されていきました。Kさんは現

②実施クラス二年四組

代国語、志賀直哉「城の崎

③ 単元「項王の最期」司馬遷『史記』

倉 帛 (倉)  
王 須 敦 司 (寶)

これにまみえん)

・ 生 観 を 高 め る。

・ だが、いの

書 上 の 留 意 点

これは、自分が二松學舎  
大学四年次に母校の函館中  
部高校で教育実習をさせて  
いただいた時の研究授業指  
導案でした。当時のことだ  
から、手書きは当然として  
も、誤字が複数（教↓学・

国語科学習指導案

1. 日時 昭和 55 年 6 月 20 日(金) 2 時間

2. 学年 2 年 4 組

3. 単元 「頂王の最後」 3. 換角目面見 (おれおれ)

4. 単元の目標

1. 日蓮、師範とて、すべての文事表現をわめかね
2. 文を深く解して、「頂王の最後」について理解せよ
3. 頂角の心情を生きてを思ひ、先生にお教

5. 指導計画

1. 四面楚歌とて解読文 (1時間)
2. 天とて教、非難之罪也。(2時間) ぶんがく
3. 換角目面見。(2時間) ことば
4. (参考)と研究の引き (1時間)

6. 本時(第4)単元の計画

① 第 1 時

② 指導過程

③ 学 習 成 果

④ 学 習 反 思

⑤ 学 習 意 義

⑥ 学 習 意 義

⑦ 学 習 意 義

⑧ 学 習 意 義

⑨ 学 習 意 義

⑩ 学 習 意 義

⑪ 学 習 意 義

⑫ 学 習 意 義

⑬ 学 習 意 義

⑭ 学 習 意 義

⑮ 学 習 意 義

⑯ 学 習 意 義

⑰ 学 習 意 義

⑱ 学 習 意 義

⑲ 学 習 意 義

⑳ 学 習 意 義

㉑ 学 習 意 義

㉒ 学 習 意 義

㉓ 学 習 意 義

㉔ 学 習 意 義

㉕ 学 習 意 義

㉖ 学 習 意 義

㉗ 学 習 意 義

㉘ 学 習 意 義

㉙ 学 習 意 義

㉚ 学 習 意 義

㉛ 学 習 意 義

㉜ 学 習 意 義

㉝ 学 習 意 義

㉞ 学 習 意 義

㉟ 学 習 意 義

㊱ 学 習 意 義

㊲ 学 習 意 義

㊳ 学 習 意 義

㊴ 学 習 意 義

㊵ 学 習 意 義

㊶ 学 習 意 義

㊷ 学 習 意 義

㊸ 学 習 意 義

㊹ 学 習 意 義

㊺ 学 習 意 義

㊻ 学 習 意 義

㊼ 学 習 意 義

㊽ 学 習 意 義

㊾ 学 習 意 義

㊿ 学 習 意 義

㋀ 学 習 意 義

㋁ 学 習 意 義

㋂ 学 習 意 義

㋃ 学 習 意 義

㋄ 学 習 意 義

㋅ 学 習 意 義

㋆ 学 習 意 義

㋇ 学 習 意 義

㋈ 学 習 意 義

㋉ 学 習 意 義

㋊ 学 習 意 義

㋋ 学 習 意 義

㋌ 学 習 意 義

㋍ 学 習 意 義

㋎ 学 習 意 義

㋏ 学 習 意 義

㋐ 学 習 意 義

㋑ 学 習 意 義

㋒ 学 習 意 義

㋓ 学 習 意 義

㋔ 学 習 意 義

㋕ 学 習 意 義

㋖ 学 習 意 義

㋗ 学 習 意 義

㋘ 学 習 意 義

㋙ 学 習 意 義

㋚ 学 習 意 義

㋛ 学 習 意 義

㋜ 学 習 意 義

㋝ 学 習 意 義

㋞ 学 習 意 義

㋟ 学 習 意 義

㋠ 学 習 意 義

㋡ 学 習 意 義

㋢ 学 習 意 義

㋣ 学 習 意 義

㋤ 学 習 意 義

㋥ 学 習 意 義

㋦ 学 習 意 義

㋧ 学 習 意 義

㋨ 学 習 意 義

㋩ 学 習 意 義

㋪ 学 習 意 義

㋫ 学 習 意 義

㋬ 学 習 意 義

㋭ 学 習 意 義

㋮ 学 習 意 義

㋯ 学 習 意 義

㋰ 学 習 意 義

㋱ 学 習 意 義

㋲ 学 習 意 義

㋳ 学 習 意 義

㋴ 学 習 意 義

㋵ 学 習 意 義

㋶ 学 習 意 義

㋷ 学 習 意 義

㋸ 学 習 意 義

㋹ 学 習 意 義

㋺ 学 習 意 義

㋻ 学 習 意 義

㋼ 学 習 意 義

㋽ 学 習 意 義

㋾ 学 習 意 義

㋿ 学 習 意 義

㌀ 学 習 意 義

㌁ 学 習 意 義

㌂ 学 習 意 義

㌃ 学 習 意 義

㌄ 学 習 意 義

㌅ 学 習 意 義

㌆ 学 習 意 義

㌇ 学 習 意 義

㌈ 学 習 意 義

㌉ 学 習 意 義

㌊ 学 習 意 義

㌋ 学 習 意 義

㌌ 学 習 意 義

㌍ 学 習 意 義

㌎ 学 習 意 義

㌏ 学 習 意 義

㌐ 学 習 意 義

㌑ 学 習 意 義

㌒ 学 習 意 義

㌓ 学 習 意 義

㌔ 学 習 意 義

㌕ 学 習 意 義

㌖ 学 習 意 義

㌗ 学 習 意 義

㌘ 学 習 意 義

㌙ 学 習 意 義

㌚ 学 習 意 義

㌛ 学 習 意 義

㌜ 学 習 意 義

㌝ 学 習 意 義

㌞ 学 習 意 義

㌟ 学 習 意 義

㌠ 学 習 意 義

㌡ 学 習 意 義

㌢ 学 習 意 義

㌣ 学 習 意 義

㌤ 学 習 意 義

㌥ 学 習 意 義

㌦ 学 習 意 義

㌧ 学 習 意 義

㌨ 学 習 意 義

㌩ 学 習 意 義

㌪ 学 習 意 義

㌫ 学 習 意 義

㌬ 学 習 意 義

㌭ 学 習 意 義

㌮ 学 習 意 義

㌯ 学 習 意 義

㌰ 学 習 意 義

㌱ 学 習 意 義

㌲ 学 習 意 義

㌳ 学 習 意 義

㌴ 学 習 意 義

㌵ 学 習 意 義

㌶ 学 習 意 義

㌷ 学 習 意 義

㌸ 学 習 意 義

㌹ 学 習 意 義

㌺ 学 習 意 義

㌻ 学 習 意 義

㌼ 学 習 意 義

㌽ 学 習 意 義

㌾ 学 習 意 義

㌿ 学 習 意 義

㍀ 学 習 意 義

㍁ 学 習 意 義

㍂ 学 習 意 義

㍃ 学 習 意 義

㍄ 学 習 意 義

㍅ 学 習 意 義

㍆ 学 習 意 義

㍇ 学 習 意 義

㍈ 学 習 意 義

㍉ 学 習 意 義

㍊ 学 習 意 義

㍋ 学 習 意 義

㍌ 学 習 意 義

㍍ 学 習 意 義

㍎ 学 習 意 義

㍏ 学 習 意 義

㍐ 学 習 意 義

㍑ 学 習 意 義

㍒ 学 習 意 義

㍓ 学 習 意 義

㍔ 学 習 意 義

㍕ 学 習 意 義

㍖ 学 習 意 義

㍗ 学 習 意 義

㍘ 学 習 意 義

㍙ 学 習 意 義

㍚ 学 習 意 義

㍛ 学 習 意 義

㍜ 学 習 意 義

㍝ 学 習 意 義

㍞ 学 習 意 義

㍟ 学 習 意 義

㍠ 学 習 意 義

㍡ 学 習 意 義

㍢ 学 習 意 義

㍣ 学 習 意 義

㍤ 学 習 意 義

㍥ 学 習 意 義

㍦ 学 習 意 義

㍧ 学 習 意 義

㍨ 学 習 意 義

㍩ 学 習 意 義

㍪ 学 習 意 義

㍫ 学 習 意 義

㍬ 学 習 意 義

㍭ 学 習 意 義

㍮ 学 習 意 義

㍯ 学 習 意 義

㍰ 学 習 意 義

㍱ 学 習 意 義

㍲ 学 習 意 義

㍳ 学 習 意 義

㍴ 学 習 意 義

㍵ 学 習 意 義

㍶ 学 習 意 義

㍷ 学 習 意 義

㍸ 学 習 意 義

㍹ 学 習 意 義

㍺ 学 習 意 義

㍻ 学 習 意 義

㍼ 学 習 意 義

㍽ 学 習 意 義

▲「昭和55年教育実習の国語科学習指導案」

# 回想

## 拝啓、G I T先生

後 藤 史 彦

(第二期・平成二十二年卒)

私は、数学が嫌いだ。いや、嫌いという表現は適切ではないかもしれない。とにかく、あの数式の羅列を見ただけで、脳が思考を拒否するのだ。小学校一年の足し算で躓いた。七十四が十三にならない理屈がどうしても理解できなかったのだ。だって、七と四なんだから、十三っぽい取り合わせじゃないか。なぜそれが十三にならないのか。まったく、理解に苦しむ。そういう体たらくだから、高校入試(数学は六十点満点の三十点だった)で中部高校に受かったのは、まさに奇跡としかいいようがなかった。もとより、奇跡はそう頻繁に起こるものではない。

小学一年生の算数すらおぼつかない人間が、高校数学の授業についていく道理はないのだ。入学後の数学の試験結果は惨憺たる出来で、私は追試験の常連となった。

高校一年の数学の教科担任は、同級生たちからG I Tと綽名されていた。G I T先生は、一学期が始まって早々に私を落ちこぼれ認定し、かわいそうなものを見るまなざしをくれるようになった。我々の学年では、数学の中間試験や期末試験は、二百点満点で概ね八十点未満だと、赤点で追試の対象となった。追試は、百点満点で六十点を取ると合格で、六十点取れなければ、

追々試、さらには追々々試が待っている。一回目の追試では、対象者は数十人いることも少なくなく、そこまで特別なイベントではない。しかし、追々試、追々々試、追々々々試と回を重ねるごとに、選り抜かれた歴戦の戦士が残っていく。かわいそうなものを見るまなざしをくれていたG I T先生の目が、徐々に、諦めの境地へと変わっていくのを感じる。追試の翌日、数学の授業の冒頭、受験者の名が呼ばれ、判決が宣告される。「A谷：セーフ！」五十音順に、セーフが幾人か続く。「S上：セーフ！」

おやおやG I T先生。これ五十音順ですよ。後藤をお忘れではありませんか。教室の、私の後ろの方からは、何を察したのか、同情とも嘲笑ともつかない吐息が漏れる。ひとしきりセーフ判決を宣告したのち、G I T先生はこちらに向き直り、手元の答案を一瞥し、眉間にしわを寄せたと思いきや、今度はニヤニヤとした笑みを浮かべ、ウンウンと頷き、そして私の名を呼ぶ。「後藤……アウト！」アウトのトを発音したときの、G I T先生の丸くすぼまった口先が、実に小憎たらしい。

後期の中間試験のときだっただろうか、何回目かの追試に落ち、ラスト三人くらいにまで絞り込まれたころ、G I T先生は廊下で私を呼び止め、こう言った。「後藤、お前はなぜここまで数学ができないのか。頭が悪いわけではないだろうに。お前、ひよっとして俺のことが嫌いか？」冗談めかして言うG I T先生からは、かすかだが本気でそう疑っているような気配も感じられた。当時の私は、授業中に指名されるたびに立ち往生してG I T先生を困らせていた。私にとっても、彼の数学の授業は、憂鬱の原因となっていた。しかし今にして思えば、当時の私はなんだかんだ言いつつも彼の授業を楽しみにしていたように思う。G I T先生は、数学をある種のアートとして考えていた節があった。ある日、彼は黒板に問題を示し、(優秀な)同級生を指名してその問題を解かせた。できあがった解答を眺めたG I T先生は、「フム。間違つては……いない」と言った。しかし彼は、一瞬不満げな表情を見せたと思いきや、今度はニヤニヤしながら、「お前、この解き方はセンスがないぞ」と続けた。そして彼は、「いいかお前ら、数学とはこういうものだぞ」と言って、別の解法を示した。別解を黒板に書き



ながら、G I T先生は、「どうだ、美しいだろう」とか、「お前ら、この素晴らしさがわかるか」など、それはそれは楽しそうにお話になる。

残念ながら、私には、問題の解法という意味では、彼が何をしているのか理解できなかった。しかし、公式やら定理やらを駆使して論証し、最初のゴチャゴチャとした数式を解きほぐしてキレイにしている過程を嬉々として語る彼の様子を見ているだけで、その楽しさは想像できた。難解な数式を、明瞭・明快に整理し説明していくその営み自体に、彼は喜びを見出していたのだ。より簡潔で、より結論にまっすぐに向かう説明であればあるほど、「美しい」解き方なのだ。

理して書面を作成することが挙げられる。そして、弁護士が書く書面は、簡潔でありかつ流れる水のように淀みのない論理展開であることが尊ばれる。ひとしきり書面を書きあげたら、私は、論理に飛躍や不明瞭さがないかを点検し、より簡潔で分かりやすい説明ができないかを検討する。そして、ゴチャゴチャと入り交じった諸々の主張のすべてが、結論に一直線に向かっている明瞭な書面を書けた日には、我ながらいいものが書けたと、一人ニヤニヤするのだ。

そんなとき私は、数式を愛おしむようにして説明するG I T先生のことを思い出す。この解き方が美しいと嬉々として語っていた彼と、今の私。考えていることは、たぶん似ている。

卒業して数年後、G I T先生がお亡くなりになった

と聞いた。年末まで教壇にお立ちになり、年明け早々に旅立たれたそうだ。あれだけ数学を愛しておられたG I T先生のことだ。人生最後の瞬間まで数学教師であることを望み、それを喜びとしたのだろう。一つの仕事にそれだけの情熱を持ち続けられることに、尊敬の念を覚える。

拝啓、G I T先生。その節は、進級できないとか行ける大学がないとか社会で生きていけないとか、ご心配をおかけしました。私に数学を解する能力がないばかりに、あなたが伝えようとしたことを理解できなかったことが残念です。それでも、最近

いたことがわかりかけてきました。あなたほどの情熱ではないかもしれませんが、私も、論理の美しさを求め、時にニヤニヤしながら、働いています。極めて不出来な生徒ではありますが、あなたが、あなたから数学を教わったあの時間と、今になって思います。

## 2023年度 収支計算書

白楊ヶ丘同窓会札幌支部

自 2023年4月 1日  
至 2024年3月31日

| 収 入 の 部   |           |                                    |
|-----------|-----------|------------------------------------|
| 科 目       | 金 額       | 摘 要                                |
| 前年度繰越金    | 1,524,848 |                                    |
| 年 会 費     | 160,000   | @2,000円 80名                        |
| 終 身 会 費   | 0         | @10,000円 0名 @15,000円 0名 @20,000 0名 |
| 総会懇親会費    | 130,000   | @5,000円 26名 @3,000円 0名 @1,000円 0名  |
| 寄 附 金 収 入 | 201,000   | 44名                                |
| 雑 収 入     | 20,000    | 総会祝儀等                              |
| 預 金 利 息   | 5         | 郵便貯金                               |
| 当期収入合計    | 511,005   |                                    |
| 収 入 合 計   | 2,035,853 |                                    |

| 支 出 の 部   |           |                        |
|-----------|-----------|------------------------|
| 科 目       | 金 額       | 摘 要                    |
| 総会懇親会費    | 140,000   | 会場関係費                  |
| 講 演 会 費   | 0         | 講師旅費・宿泊費・謝礼            |
| 印 刷 費     | 260,348   | 白楊ヶ丘札幌、総会通知、年会費払込票等印刷費 |
| ホームページ作成費 | 440,671   |                        |
| 通 信 費     | 124,238   | 総会通知、支部報、発送費等          |
| 旅 費 交 通 費 | 45,000    | 本部・他支部総会参加旅費、その他交通費    |
| 会 議 費     | 77,550    | 役員・幹事会費                |
| 事 務 費     | 1,934     | 文具・消耗品費                |
| 振替手数料     | 27,170    | 郵便振替手数料                |
| 雑 費       | 20,080    | 本部・他支部祝儀・その他雑支出        |
| 当期支出合計    | 1,136,991 |                        |
| 下期繰越金     | 898,862   | 内訳財産目録のとおり             |
| 支 出 合 計   | 2,035,853 |                        |

| 財 産 目 録 |         |     |
|---------|---------|-----|
| 種 類     | 金 額     | 摘 要 |
| 現 金     | 2,766   |     |
| 振 替 口 座 | 145,186 |     |
| 郵 便 貯 金 | 750,910 |     |
| 合 計     | 898,862 |     |

# 白楊ヶ丘同窓会札幌支部 第41回定期総会・懇親会

令和6年8月30日(金) 午後6時/ネストホテル札幌駅前

## 講演会

## 「函館中部高校で学んだこと」

講演者 中村 大輔 氏(第104期)



### (主な経歴)

平成14年 函館中部高等学校卒業  
平成18年 北海道教育大学札幌校教員養成課程卒業  
平成18年 私立札幌光星中学校・高等学校 勤務開始(現在教員18年目)

### (現在の役割)

#### 校内

・地歴・公民科 教員(主に世界史、政治・経済を担当)  
・進路・学習指導部 副部長、高校3年 学年主任  
・バドミントン部 顧問

#### 校外

・北海道高等学校政治・経済研究会 事務局次長  
・札幌地区バドミントン協会 審判委員  
・(資格)日本バドミントン協会公認審判員1級  
・(資格)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者コーチ3(バドミントン)

## 函館中部高等学校校歌

作詞 函館中部高等学校教諭

藤原直樹

作曲 函館中部高等学校教諭

酒井武雄

一、火柱のはためく峰も

年古りて緑の臥牛

宇賀の浦風の砂山

波よせてくずれ流るる

見よや物なべてうつろふ

窮みなし流転の相

二、北の国雪深けれど

その底には草は芽ぐめり

野山荒れ鳥潜めども

やがて来ん春の光に

万象の蘇る見よ

ここにあり不滅の生命

三、白楊のさやめく丘辺

秋深き梢揚げば

牙え渡る銀河の彼方

幽けくぞ星雲燃ゆる

胸に満つ久遠の思ひ

遙かなり真理の彼岸

四、限りなき流転の中に

生命あり不壊の学び舎

聞けや今窓の外遠く

新潮の入りくるひびき

よしさらば若人われら

踏まんな希望の門途

## 函館中学校校歌

(同窓会歌)

作詞 第二高等学校教授

土井晩翠

作曲 東京音楽学校教授

岡野貞一

一、玄冥の北の一道

関門の岸に臨みて

青春の薫にしろく

基おく育英の場

二、集い寄る千余の子弟

人生の花の綻び

身を鍛へ心を練りて

向上の一路を辿る

三、宇賀の浦万頃の水

駒が岳千仞の山

微を積みて高きに至り

滴より空をもひたす

四、形ある無言の教

仰げ我が紅顔の子等

業成らば双の方の上

興国の運も負へかし

五、母校の名子弟の誉

花と香と常に伴ふ

任重く道の遠きを

嗚呼健児勉めざらめや

## 編集後記

今年、函館が名探偵コナンの映画の舞台になったというところで、多くの観光客が函館を訪れていると聞きます。街中も名探偵コナンとコラボしたデザインや商品も多く、街全体が盛り上がりつつあります。映画を観た人からも、函館についてのコメントを多く聞き、自分自身が函館を故郷としていることを誇らしく感じました。

次年度は母校・函館中部高校が百三十周年ということ、母校の伝統と時代の要求に応じた変化である「不易と流行」を実感します。一学年の生徒数は減少傾向ですが、一方で、生徒一人ひとりの活躍の場が増えたり、先生方のきめ細かな指導を受けたりすることができているのだらうと思います。その高校生が大学進学、そして社会に出た時に支える役割として同窓会に何ができるのかを考える日々です。引き続き、同窓会活動へのご協力をお願い申し上げます。

(一〇四期 中村大輔)